

羽越水害50年行事

平成29年5月31日

歩いて、調べて、話し合い、「防災福祉マップを作ろう」in高畠
～急激な水位上昇を知らせる、水電池警告灯が全国初登場～

今年には羽越水害から50年の節目を迎えることから、水害から命を守る防災をテーマに様々な取り組みを関係機関と進めています。

その一環として、高畠町中瀬地区住民への防災講座及び防災マップ作りを行います。

この取り組みでは、羽越水害や近年の洪水を振り返り、洪水の怖さを再認識し、実際に地区内を歩き、住民自ら防災マップを作ります。

さらに、河川の水位が住家付近の水位に達した場合に、いち早く住民に避難を促す、水電池を利用した「河川水位警告灯」を全国で初めて設置します。

1. 日時

平成29年6月11日(日) 9:00～12:00

2. 場所

高畠町中瀬公民館

防災福祉マップ作り、水位警告灯現地説明では、実際に町内を歩きます

3. 対象

高畠町中瀬地区住民 約30名

4. 内容(予定)

(1) 防災講座「羽越水害を振り返り、水害に備える」

- ・羽越水害とはどんな水害だったか
- ・河川水位と避難情報の関係
- ・身の回りのリスクを知る

(2) 水位警告灯現地説明

- ・水位警告灯のしくみ
- ・水位の設定状況

(3) 防災福祉マップを作る

- ・中瀬地区の危険箇所を現地で確認
- ・防災福祉マップを作り地区住民で共有

5. 実施主体

羽越水害50年行事实行委員会

国土交通省・山形県・山形市、米沢市、寒河江市、村山市、長井市、天童市、
上山市、東根市、南陽市、西川町、山辺町、中山町、河北町、朝日町、大江町、
高島町、川西町、白鷹町、飯豊町、小国町（一社）東北地域づくり協会、
美しい山形・最上川フォーラム、NPO法人最上川リバーツーリズムネットワーク

6. 今後の予定

今回の取り組み内容及び成果（防災福祉マップ）、取り組みを通して感じたこと
などを羽越水害50年メイン行事で、発信する予定です。

8月26日（土）「最上川防災講座」（仮称）

シェルターなんようホール 会場内

7. その他

取材については、随時取材可能です。

羽越水害50年特設サイト http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/river/ etsu50/	<input type="button" value="忘れない 水害への備え"/>	<input type="button" value="検索"/>
<p>「水害から身を守る」出前講座！随時実施中！ 地域の小さな集まりから、 学校・会議までどこでも参ります！</p>		

< 発表記者会：山形県政記者クラブ・米沢記者倶楽部 >

< 問い合わせ先 >

高島町建設課

高島町大字高島436(TEL 0238-52-1114)

建設課長 高橋 甚市

国土交通省 東北地方整備局

山形河川国道事務所調査第一課

山形市成沢西四丁目3-5(TEL 023-688-8933)

調査第一課長 小出 博(内線351)

山形県置賜総合支庁

建設部河川砂防課

米沢市金池七丁目1-50(TEL 0238-26-6000)

河川砂防課長 鈴木 崇

集合場所：高畠町 中瀬公民館（山形県東置賜郡高畠町夏茂中瀬1684-2）



地図データ ©2017ZENRIN 50m 